



# 弘麗

## 黒部市立前沢小学校

〒938-0806

富山県黒部市前沢66

電話 0765(54)0770

FAX 0765(54)2548

Email: maezawa-es@tym.ed.jp

ホームページは

[www.tym.ed.jp/sc23/](http://www.tym.ed.jp/sc23/)

ぶるぐ「まえざわ日記」も

ほぼ毎日更新

### この号の目次

地に花 人に心  
花壇作業、学校園作業を通して  
環境主任 大角伸児

自ら学ぶ子どもを目指して  
—全国学力・学習状況調査の結果より—

かぜとインフルエンザにかからないために  
養護教諭 舟島素子

ベニズワイガニ出前  
講座&食べ方教室

みんなでもちつき  
なかよし集会

これからの行事予定  
3学期の行事予定



花苗の植え込みの様子



サツマイモ掘りの様子

よく考え工夫する子 仲良く励み合う子 元気でがんばりぬく子

## 地に花、人に心 花壇作業、学校園作業を通して

環境主任 大角伸児

今年も無事、前沢小学校の2学期が終わろうとしています。表題の「地に花、人に心」の言葉は、今から約30年ほど前のチョコレートのテレビコマーシャルの言葉です。

地面に花が咲き、花に水を注ぐ。そして水を注ぐことによって、花が咲きほこり、人の心が和み、豊かになり成長していく。そんな意味だと思います。

前庭の学校花壇は、手前に前沢のアルファベット表記の頭文字のMをかたどり、中央に1年草を植え込む三重円の花壇、そのまわりを宿根草花壇が取り囲み、さらにさまざまな樹木に包み込まれるように作られています。

中央の円形花壇は、毎年春5、6年生から花壇のデザインを募集します。デザインをもとに、サルビア、マリーゴールドなどの花苗を手配します。苗が届くと、すぐに5、6年生が中心となって花苗を植え込み、水やりや草とりなどの世話が始まります。こうして初夏には、きれいな花が咲きそろい、夏休みの間も、4年生が水やりの当番に加わり、花壇の手入れを続けます。

水を与えると、花は生き生きしています。「『元気になれよ。きれいに咲くんだよ。』と声をかけてやると、花ってきれいに咲くんだよ。」と、作業をする子どもたちに声をかけると「きれいに咲いてね。」などとやさしく花に声かけしながら水やりをしています。

花壇の世話は、エコ・クリーン委

員会が中心となっていますが、花を育てる心は、1年生から6年生までの全校に広まっています。今年も、自ら進んで取り組むボランティア活動が数多く呼びかけられ、「草取りサーティー」や花の看板作り、花がら摘み、秋には、花壇の周りの落ち葉はき活動なども行われ、たくさん子どもたちが花壇にかかわっていました。

学校園でも栽培活動が進められました。各学年でミニトマトやダイズなどの作物を植えていきます。全校で取り組むサツマイモの栽培の一部は前沢保育所の年長児と一緒にを行いました。

水やりや草むしり、支柱立てや追肥など季節や成長に応じて様々な活動をしながら秋の収穫等の時期を迎えます。

サツマイモを掘り上げると「すごい。これってサツマイモチャンピオンかなあ。」「こっちの方が大きいよ。」「スウィートポテトにして食べたいな。」など子どもたちのわくわくした声が学校園いっぱい響きました。こうして花と同様に野菜を育てる心が、1年生から6年生までの全校に広まっています。

学校花壇も学校園も育てているのは、花であり、野菜などの生き物です。しかし、それらの作業を通して子どもたちの花を愛する心や友達と協力する心、人にやさしく接する心などを育てていると、いま思っています。

やはり「地に花、人に心」です。

### 自ら学ぶ子どもを目指して ー全国学力・学習状況調査の結果からー

東日本大震災の影響で、4月実施予定の全国学力・学習状況調査の実施が見送られました。黒部市では、文部科学省より配布された問題を用いて、9月に、6年生を対象に、国語科と算数科、そして、学習状況などの質問紙調査を行っています。調査結果をもとに、本校では、分析や今後の取り組みについて検討し、子どもたちの学力がより向上するよう、教育活動の見直しと工夫を行っています。

調査は、次の3つに分け、実施します。

- ① 主として「知識」を問う、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識や技能などを中心とした出題(国語A、算数A)
  - ② 主として「活用」を問う、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などにかかわる内容を中心とした出題(国語B、算数B)
  - ③ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査(質問紙)
- 質問紙は、子どもたちの学習や生活の様子が学力とどんなにかわりがあるかを調べるもので、これまでの4回の調査から、例えば、朝ご飯をしっかりと食べている子どもの学力が高い傾向にあるなどの結果が広く知られています。また、A問題の正答率が高く、B問題はA問題に比べて正答率が低い傾向にあることも、これまでの調査結果から課題になっており、学校教育での取り組みに反映されていたものです。

今年度の調査結果の概要についてお知らせします。

◎基礎的・基本的な知識及び技能は、十分に身に付いている。

A問題では、国語、算数いずれも高い正答率でした。国語では、漢字の読み書きや新聞記事を効果的に読むことや文章のつながりを整えて書くことなどがとてもよくできていました。算数では、計算や体積を求める問題、図形・グラフの読み取りなどがとてもよくできていました。

基礎的・基本的な知識及び技能は、十分に身に付いていると思われる。

◎記述式の問題はよく理解し、自分の考えを書いている。

B問題は、比較的高い正答率でした。問題文を読み、自分の考えを書くことができています。しかし、学力のいっそうの向上を目指すための課題もあります。

△解答に慎重な子どもが多い。

△問題を見渡し、自分が解答できる問題から先に行ったり、解答の仕方をよく読み、問題に合わせて解答する必要がある。

国語Bでは、問題文を読むのに時間がかかり、時間内にすべての設問に解答しきれなかったとか、問題に示された条件をすべて満たした解答になっておらず誤りと判断された例がありました。算数Bでも、答えは分かっているが、解答すべき項目が不足して誤りと判断された例がありました。

調査から、以下のように、

長文を読みこなす力  
順序立てて考えていく力

を身に付ける学習への取り組みが必要だと考えています。

◇日常的に、文字や文章にふれる。

◇本に親しむ体験を広げる。

◇多様な理解の仕方や説明の表現力を身に付ける。

◇「自学ノート」の全校的な取り組みを進めます。

今後の具体的な学習として、

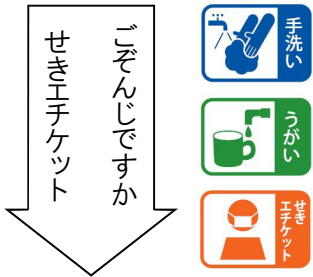
- 読書活動を通して、子どもたちが文章にふれ、読み解く力を育む。
- 新聞記事などを読み、的確に内容を把握する学習活動を重視する。
- 問題の文章を正しく読み解くために、図や絵に表して理解しようとするなど理解のための自分なりの工夫を行う。など、国語科、算数科だけでなく教育活動全体で意図的に取り組んでいこうと考えています。

10月に実施した家庭学習強調週間では、読書週間と連携して取り組んだことから6年生の家庭での読書量は、10日間の期間中、平均で426ページでした。今後も、読書の習慣の定着に努め、環境整備と併せて、文章を読み深める機会を増やします。

また、同じ期間での平均学習時間は約60分間で目標を満たしていますが、60分以上の家庭学習を期間内に8日以上できたのは約半数に留まっています。宿題への取り組みは、全校的にみても大変しっかりと取り組まれています。今後は、宿題以外の自発的な学習への広がりが学力向上の鍵になると考えています。

そこで、「自学ノート」(自分で学習するノート)の取り組みをいっそう進めていこうと考えています。学年に応じて、漢字や計算、九九の練習、新聞記事や本を読んだ感想、社会科や理科のまとめを作るなど、自分の興味あることから、時間を効率的に使って、学習します。

子どもたちが「知る」「分かる」「できる」楽しさを感じて、自分で学習を進める「自ら学ぶ力」の育成に努めていきたいと思ひます。



## かぜやインフルエンザにかからないために

養護教諭 舟島素子

インフルエンザの流行期になりました。発症者が出て、感染が大きく広がらないように、学校では、子どもたちの体調管理と予防措置に努めています。教室には、温湿度計を設置し、インフルエンザが広がりにくいとされる湿度50%以上を保つように注意しています。富山の冬は雪が降るため、空気が乾燥しにくいと言われていますが、暖房を入れた部屋の中はどうでしょうか。ご家庭でも予防策をたてておられることと思いますが、もう一度確認をお願いします。

かぜやインフルエンザの予防には日頃からうがいや手洗いを励行し、マスクの着用を心がけることが大切です。基本的な行動として続けられるようにしましょう。

予防接種を受けることも発症予防や症状の重篤化を防ぐ効果があるとされています。

一度、インフルエンザにかかったことのある人は、つらい体験をし、二度とかかりたくない、次の年から予防接種を家族で受けているという話を時々、耳にすることもあります。接種には体調が整っていることも必要ですので、かかりつけの医師と相談されるとよいでしょう。

かぜと違い、インフルエンザは急に体温38～39度の高熱が出るのが特徴です。さらに、けん怠感や筋肉痛関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は、通常で5日ほど、続きます。それに気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかわることもありますので注意が必要です。

学校では、特に、せきやくしゃみ

などかぜ症状のあるときは、「せきエチケット」の指導として、マスクの着用を勧めています。

マスクの着用は、感染拡大防止や予防に大きな効果があります。うつさないためにも、うつらないためにも、マスクをかけることで、安心感が増すようです。

また、マスクの着用の効果として、のどや鼻の粘膜を潤すことや、冷たい空気の刺激を和らげ、ウイルスが好む「低湿低温」の環境を防ぐことがあります。さらに、かぜをひいても、炎症の悪化を抑えることができます。

しかし、せっかくマスクをつけているのに、あごや鼻を覆っていない子どももいます。正しいマスクのかけ方を知り、自分で鏡を見たり、あるいは友達から教えてもらったりして、常に正しくマスクをかけることを習慣づけられるよう指導していますが、家庭でも気をつけていただいで、時々確かめてください。

かぜやインフルエンザ流行期はいつでもかけられるよう、ランドセルの中に新しいマスクを1枚入れておくのもよいでしょう。原則は、身に付けるものになるので、家庭から持ってくることになっ



正しいマスクの着用

ていますが、マスクを忘れたり、登校後、せきがひどくなった場合は、保健室のものをお渡ししています。

マスクを足がかりにして予防行動する意識が高まることを期待しています。

せきの症状がある場合、必要なのはマスクの装着です。マスクがない場合はウイルスを飛散させないよう、手で口元を覆いがちですが、これはあまりおすすめできません。

この方法は、せきの瞬間のウイルス飛散は抑えられますが、ほとんどのウイルスが手に付着するため、感染を広げてしまうことになるのです。

例えば、せきをした後で不特定多数の人が素手でふれるドアや扉の取っ手などにさわること、物を介してウイルスが広がります。

マスクがない場合は、ティッシュペーパーなどで口元を押さえるのもいい方法でしょう。(イラストA)

また、せきをする時に手で口元を覆うことで、手に付着している他のウイルスを吸い込んでしまう危険性もあります。感染拡大と予防の二重の意味で手で口元を覆うのはおすすめできないのです。



ティッシュペーパーが切れていた、すぐに取り出せないときは緊急避難的に上着の袖を使いましょう。手と違って、あまり周囲を汚染しません。(イラストB)

もう一つ見落とされがちなのが、ティッシュペーパーです。せきをうけとめたり、鼻をかんだりしたティッシュペーパーには大量のウイルスが付着している可能性が高いのです。

せきをしたり鼻をかんだりした後のティッシュをうっかりさわってしまった場合や、ごみ箱をひっくり返してしまった場合は感染の危険が高まります。

鼻水がひどいときには、できればポケットティッシュと一緒に小さめのごみ袋を持つことも対策のひとつです。

予防の仕方を習慣づけて感染の予防を心がけましょう。

## 黒部の魚ブランド「ベニズワイガニ(あかがん)」出前講座&食べ方教室

12月2日(金)5、6年生を対象に、黒部の地域ブランドとして定着を目指すベニズワイガニの出前教室が行われました。

カニといえば、ズワイガニが話題になりますが、黒部漁港が県内最大の水揚げ漁港でもあるベニズワイガニは、しっとりとした食感と優しい甘みで人気があります。ふるさと教育や食育の一環として、漁業関係者の方を講師にお招きし、直接、漁やカニの特徴などの話を聞き、食べ方を教えていただきました。

子どもたちは、丸ごと一杯のカニを見ることも少ないようで、怖々と足を折り、甲羅を開けて食べ始めました。朝、水揚げされた新鮮なカニとあって、途中からは、夢中になっていました。海の恵みがもたらした格別のふるさとの味は子どもたちの心に深く刻み込まれたようです。



カニ試食の様子

## 「みんなで餅つき なかよし集会」で餅つき体験をしました

12月14日(水)「みんなで餅つき なかよし集会」を開催しました。この集会では5年生の総合的な学習の時間で進めてきた農業についての学習をもとにして、全校で餅つきを通じた交流活動を行いました。

だきました。農業には、土地の恵みを生かした伝統的な行事もあり、餅つきはその代表的なものです。道具の用意やつき方までグリーンパワーくろべのみなさんに指導していただきました。

臼ときねを使った餅つきは多くの家庭では難しくなり、多くの子どもにとって初体験だったようです。JAくろべさんから提供いただいたモチ米がつきあがり、5年生の手で次々にごまときな粉の餅になっていきました。

ふるさとのくらしの背景にあるものと土地の味わいをここでも学ぶことができました。



もちつきの様子

## これからの行事予定と3学期の主な行事予定

変更になる場合には、学級連絡網などでお知らせします。不明の点は、学校に確認ください。

行事予定は、前沢小学校ウェブサイト [www.tym.ed.jp/sc23/](http://www.tym.ed.jp/sc23/)にも最新版を掲載しています。

12月	27日(金)スキー練習会(3年生以上) 糸魚川シーサイドバレースキー場
22日(木)終業式	30日(月)研修会のため、13:00ごろ下校
25日(日)冬季休業日(～1月7日)	31日(火)代表委員会
12月29日から1月3日までは学校をお休みとします。緊急の連絡は、教頭携帯090-3760-9868にお知らせください。	2月
平成24年	6日(月)委員会
1月	10日(金)貯金日、バースデーランチ
10日(火)始業式、給食開始、書き初め大会 委員会	17日(金)学習参観、中学校説明会(予定) 学級懇談会(いずれも、午後)
12日(木)邦楽体験教室 5、6年生 身体視力測定	24日(金)代表委員会
13日(金)貯金日、バースデーランチ 代表委員会、前沢げんき教室⑨	3月
18日(水)英会話公開授業(全学年)	2日(金)6年生を送る会
20日(金)前沢げんき教室⑩	5日(月)委員会
23日(月)から27日(金)まで校内給食週間	9日(金)貯金日、バースデーランチ
	16日(金)卒業証書授与式
	22日(木)給食最終日
	23日(金)修了式